

新入社員「地域に貢献」

西濃各社が入社式

新年度のスタートとなった1日、西濃地域でも各企業が入社式を開いた。一部、新型コロナウイルスの感染対策のため開催を延期する企業もあるが、多くは新入

社員同士の一体感を醸成する目的もあり、消毒やマスク着用といった対策を万全にしながらか開催。金融機関では大垣共立銀行と大垣西濃信用金庫が行った。



境敏幸頭取(右)から辞令を受ける新入社員＝大垣市郭町、大垣共立銀行本店



栗田順公理事長に向け宣誓をする新入職員たち＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本部

大垣共立銀行はグループの入社式を大垣市郭町の本店で開き、新入社員115人(同行89人、グループ会社26人)が一堂に会した。境敏幸頭取は同行に入社する若尾怜奈さん(22)に辞令を手渡し、「アイデアさえあればいろんなサービス

を提供できる。皆さんの前には無限大の市場がある。ぜひ一緒に新しい時代、ワクワクする時代に向かっていこう」と訓示。同行に入社する大谷拓夢さん(22)が「強い意志を持って日々研さんを積み重ねることで、OKBグループ社員として地域に愛され、親しまれ、信頼される存在となる」と誓いの言葉を述べた。

大垣西濃信用金庫は、同市恵比寿町の本部で実施。新入職員17人が出席した。栗田順公理事長は「自己成長を実現するために基本を身に付けること、準備を怠らないこと、挑戦し続けることの3点を意識してほしい」と訓示し、代表の玉木滉大さん(22)に辞令と金庫章を手渡した。また新入職員を代表して河合洋佑さん(22)と川瀬朱莉さん(22)が「地域経済の力強い回復に貢献していきたい。地域になくはない金融機関として、より一層存在感を高めることができるよう努める」と誓った。(鈴木隆宏)